

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	17110	電話	042-769-8299
担当部課名	企画部	広聴広報	課	広聴 班
事務事業名	地域市政懇談会			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民主体のまちづくり	63以前年度
施策名	第1施策	個性豊かな地域づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市広聴広報規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
地域の代表である自治会長等と市とのコミュニケーションの場を設け、お互いの理解を深め、住みよいまちづくりを推進するため実施している。具体的には地域の課題や市が抱える課題について市長が直接地域に出向き、市の基本的な姿勢等を説明し、また、その課題に対する意見をお聴きして、市政の参考とする。	地区自治会連合会長及び地区自治会連合会が指定した関係団体の代表者等
	対象数 468人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
8月から11月にかけて、本庁公民館区6地区と各出張所12地区の全18地区で開催参加者は468人(1会場平均26人)、傍聴者は26人(1会場平均1.4人)議題の件数 155件	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標	参加者数		地域市政懇談会の趣旨である地域と市とのコミュニケーションの場に継続して地域の代表者等に参加してもらう。	469	470	468	470	470

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	87	91	88	103	103
	人員・時間数	926	926	926	926	926
	人件費	3,853	3,853	3,853	3,853	3,853
	その他経費					
	合計	3,940	3,944	3,941	3,956	3,956
特定財源						
対象数		469	470	468	470	470
対象の単位あたり経費		8.4	8.4	8.4	8.4	8.4

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	事業の目的達成度を計るための指標を設定することは本事業にはそぐわないと考える。本事業は地域の代表者である自治会長等と市長が地域や市の課題について懇談をすることが目的であり、その意味からは目的を達成していると考ええる。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある
		説明	年1回、地域の代表者である自治会長等と地域の課題について懇談を行うことや、また、市政の概要について説明を行う場として必要性は十分確保されている。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	市民主体のまちづくりという観点から、地域の代表者と地域の課題や市が抱える課題について意見交換をすることは施策遂行のため有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	地域の課題については、事前に通告をしてもらうことにより効率的な意見交換が図れる。また、市が抱える課題については、情報提供の機会と共にい出された意見は今後の施策の展開のための参考とすることができる。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	地域の代表である自治会長等を対象とした懇談会である。なお、自治会長以外の自治会員には懇談への参加はできないが傍聴は認められている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明： (議題内容の見直し) 地域からの議題については、市政に関する問題や地域問題でも市域共通の課題をあげてもらう。また、市が抱える課題については、情報提供と共にフリートークで意見交換を行う。	手段	地域からの議題は、その地域に特定する道路や交通の問題が多く、懇談の余地がないものがある。今後、市政に関する問題などに特定できれば、事前の通告や回答の作成などの事務省略により効率化が図ることができる。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	地域市政懇談会については、年1回地域の代表者である自治会長等と市長が直接、懇談をして地域の意見をお聴きし、市政への参考とする意味から継続する意義がある。また、市民参加をさらに促すためには、議題内容の見直しを図ることによって活発な意見交換が図られると考える。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--